



あなたはバケモノ。

「殺人者」

殺人者という言葉を聞くと

「えっ、殺人事件でも起きたの？怖いわ。」

「どうしてそんなひどいことをするのだろう！」

そんな風に、普通の人は感じると思うのです。

殺人、怖いわ。殺人、いやな世の中ね。こういう世の中だから殺人事件なんか起こるのよ。ひどい世の中ね。サツバツとした世の中だわ。こんな世の中はいやだ。

世の中を作ったあなたが殺人事件を起こしたのに。

裁かれる、他人を、自分と、区別して、
まるで全く無縁であるかの如くふるまう。

天使の仮面をかぶった悪魔、
それが

これを読んでいるあなた、「大衆」です。

あなたは、バケモノ。

間接的に、常に犯罪を繰り返させるバケモノ。

世界中の食料を吸い上げて生きる先進国は、
発展途上国の人間たちを地獄に突き落としている

しあわせな
食卓の
うらがわに
あくまの、ほほえみ。

ああ、
あなたは、
発展途上国の人間の生血を
啜って、

いきている。

発展途上国の人間を食べている。

ともぐいをして
しあわせそうに
ウフフフ。

人間が、人間を
間接的に食べているの。
おいしい？ そう、おいしい？
しあわせ？ そう、しあわせ？

なんか、わかる？

だって、他人の幸福を食べて生きている。

たのしい

「偽善者の顔をして生きているって、幸せですよね。」

この本を読んでいる偽善者のみなさん。

言い訳を、具体的にいくつ、考え付きましたか。

「私はこういう団体でこういう活動をしている、だから私は偽善者ではない」

「私はただ自分の幸せを追求しているだけ、だから私は偽善者ではない」

「私は常に他人の幸せの為に働いている、だから私は偽善者ではない」

人の皮をかぶった、獣である皆さん、
自分を素晴らしい正当化する為に、いろいろな言い訳、考えながら生きている！

しかし、社会に所属しない人間はいないのです。
社会は、人の幸福を吸い上げて成立しています。
あなたは、ばけものです。

悪魔が作り上げた社会だから、こんなに悪い世の中なのですよ。

仮に、正常な人間が作った社会が、こんなに異常な世の中になりますか？

つまり、社会の構成員たる、あなたが異常者で、狂人で、悪魔であるからこそ
こんなに酷い世の中が成り立つわけです。

例えば、「これは酷い車である。」これは、車のせいですか。

車を構成する「パーツ」、つまり、あなたのせいですよね？

つまり、世の中が悪いのは世の中のせいではない
あなたのせいです。

あなたが立派に、間接的に人を殺し犯罪を犯し、悪事に手を染めて生きているのです。
分かりやすいでしょう。

生きていて楽しいですか？楽しいこともある。分かります。

生血をすすって生きるんだから、楽しいこともあるでしょう。

社会は幸せの奪い合い。あなたは立派な、社会人（リヤクダツシャと読む）なのだから。

ばけもの

高慢な、あなたは、

「私は社会人として立派に貢献している」

「僕は将来立派な大人になる」

しかし、たかだか80年で終わる人生のなかで、「立派」というのは、
具体的にいったい、あなたが何をどうすることなのでしょうか？

そうするとあなたは、自己満足のネタしか考えない。

つまりですね。

みんな、

本当にいいことが何かなんて、考えないんです。

テキトーなんです。

だから、悪魔の正体とは、あなたなのですよ。

聖人面した悪魔がね、

さもさも立派な顔をして、社会を闊歩している。

だから、「ばけもの」とはね、

あなたの事なのですよ。

＊＊＊

今日も「にんげん」の外見をした人形は踊る。

情報の糸に操作されて、

80年間、無意味にただ、踊り続けるだけ。

「自分で考えている」思い込み。

「自分の意志がある！」思い込み。

「自分の価値がある」思い込み。

自分の考え方や、意志や、価値は

どうせ、どこかで聞いたようなネタでしょう？

「にんげん」の人形劇を見るのも

馬鹿馬鹿しくてすぐに飽きますね。

どうせ、あなたの人生なんて、

同じようなネタの繰り返しでしょうが。

「歴史は繰り返す」

というけれど・・・。

テキトーなネタの使いまわしで紡ぎ上げた人類の歴史なんか、

「歴史」ですらない

お人形さんの、ネタの使いまわしの、お人形劇。

ああ

人の人生は

どこにあるのでしょうか。

ばけものの

自分の人生を見ずに

自分の人生を

いったいどこに

ひとは

探すというのでしょうか。

ばけもの

<http://p.booklog.jp/book/29719>

著者：せいうんですよ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/seiundesuyo/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/29719>

ブクログのパブー本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/29719>

電子書籍プラットフォーム：ブクログのパブー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.